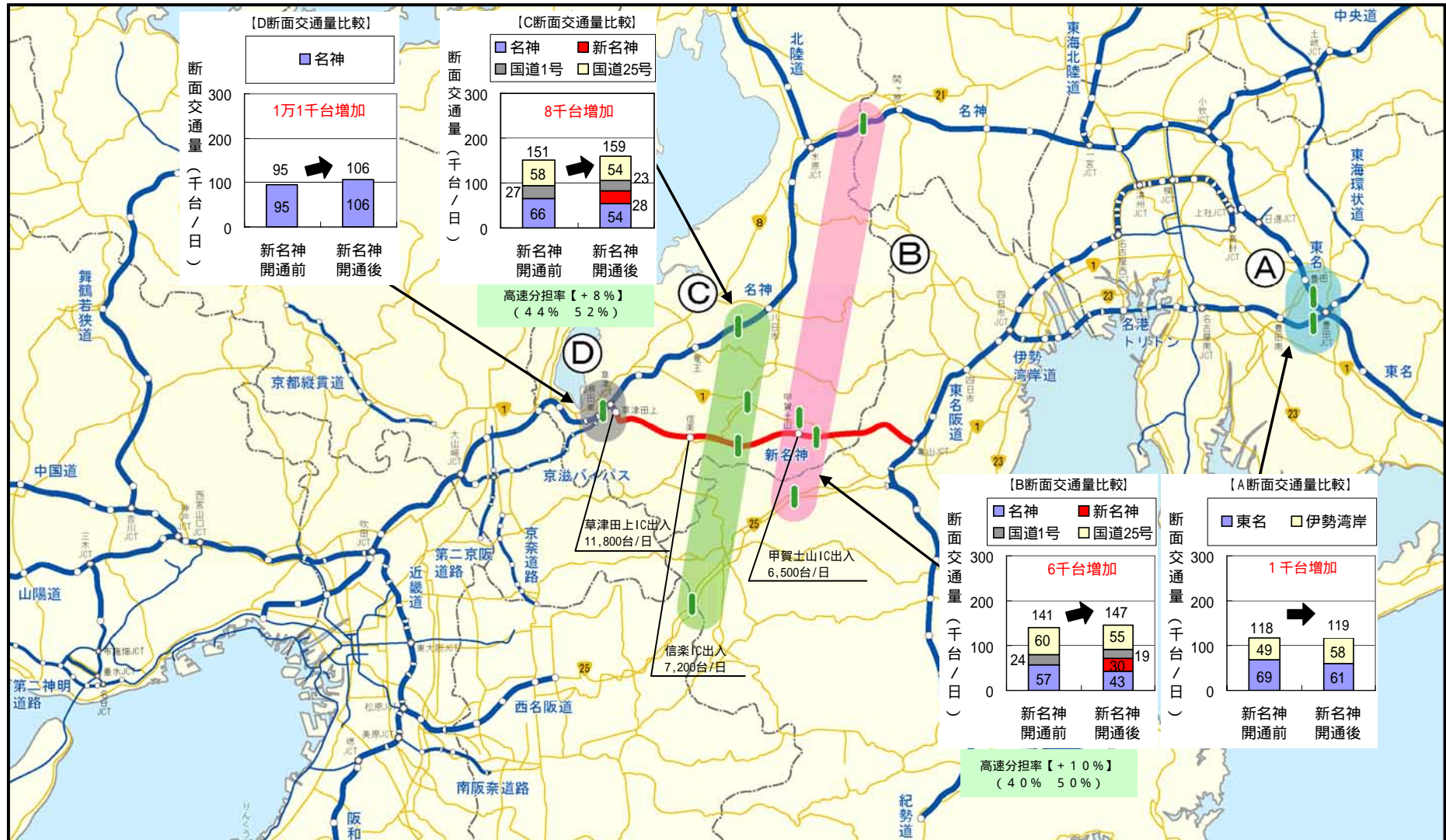


3. 中部圏～近畿圏の交通量の変化

・新名神高速開通後の中部圏から近畿圏の主な高速道路及び一般道路の断面交通量を国道25号(名阪国道)集中工事期間を除いた前年度の同時期と比較したところ、B断面で約6千台/日増加、C断面で約8千台/日増加しました。また、A断面は1千台/日増加、D断面では約1万1千台/日増加しました。
 ・一方、名神高速は、B断面で約1万4千台/日減少、C断面で約1万2千台/日減少しており、新名神高速への転換が図られていると推測されます。



交通量計測装置によるデータを速報値として記載。

新名神開通前:平成19年3月3日(土)から3月25日(日)までの日平均交通量を記載。

新名神開通後:平成20年3月1日(土)から3月23日(日)までの日平均交通量を記載。

平成20年2月24日(日)から平成20年2月29日(金)までは国道25号(名阪国道)集中工事期間であるため、データから除外している。

C断面の国道1号の交通量は、新名神開通前:平成19年11月6日(火)、新名神開通後:平成20年3月12日(水)の実測データを記載。

・新名神高速道路と名神高速道路の交通量分担率

- ・開通後の平成20年2月26日(火)～2月29日(金)の豊田JCTと草津JCT間を通過する交通量は、約13,600台/日でした。
- ・通過交通の分担率は、新名神ルートが約7割、名神ルートが約3割と推測されます。

